

平成 28 年度 生活困窮者自立支援推進協議会  
居場所づくりに関する専門部会の取組まとめ

1 既存の居場所の共有および生活困窮者支援における活用について

①協議内容

- ・生活困窮者がボランティア等として関われることはないか
- ・既存の居場所において、利用対象者の枠を広げられないか
- ・既存の居場所において、実際には利用が少ないが、利用できる対象者はいないか

②協議結果

当日資料 2 - 2 居場所に関連する事業等のリスト参照

③生活困窮者支援における活用実績

既存の居場所等	活用実績
まごのて	生活困窮者が担い手として参加（5名）
グループセッションミント	利用対象者を拡大し生活困窮者も利用を開始
阪神南障害者就業・生活支援センター事業 在職者交流活動	今後必要に応じて生活困窮者も利用可能
就労支援カフェ CASHE-CACHE（カシュカシュ）	

2 居場所に関する情報の集約と周知に関する今後の課題について

①居場所の情報の集約について

- ・活用しやすくするために必要な情報の精査
- ・インフォーマルな居場所の情報収集

②居場所の周知について

- ・周知ツールおよび発信媒体の検討
- ・関係機関及び居場所づくりを検討している同様の機関との連携についての検討